

1. 科目名 (単位数)	音楽演習 (2単位)	3. 科目番号	JCCM2416
2. 授業担当教員	松本 岳志		
4. 授業形態	講義、及び演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	「音楽表現」「音楽表現Ⅱ」を履修済みのこと。		
7. 講義概要	本授業では、「こどもと音楽」「音楽表現」「音楽表現Ⅱ」で獲得した知識を深めるとともに、音楽表現の技能を更に高める。ピアノ演奏技能や歌唱活動だけでなく、リズム活動や合奏・合唱・創作活動等、保育・教育現場における幅広い音楽表現活動について学習し、保育者として適切に援助したり指導したりすることができる能力を身に付ける。		
8. 学習目標	1. ピアノ伴奏による弾き歌いの技術を前学期より向上させる。 2. 歌唱法の基礎的技術を前学期より向上したか。 3. 歌からリズム遊び、楽器遊び、合奏、創作活動等に発展させる能力を身に付ける。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	① コードネームによる伴奏付けができるようになるための課題を出す。 ② 弾き歌いの質を向上させるため、発声の基礎を身に付ける。 ③ こどもの歌のレパートリーを増やす。 ④ こどもの歌の「弾き歌い」の発表を行う。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 ・「音楽表現」及び「音楽表現Ⅱ」で使用した曲集を継続使用する。 ・上記の教科書以外に必要な楽譜等は、授業内でプリントにして配付予定。 【参考書】 ・安藤悦夫他共著『幼児の器楽教育法』建帛社 ・伊藤嘉子編著『手づくり楽器とたのしい合奏』株式会社エー・ティー・エヌ 【教材】 ※各自で必ず持参すること。 ・ヘッドフォン ・6.3mmジャック (先端が3.5mmジャックの場合、ステレオ変換ジャックが必要)		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. ピアノ伴奏による弾き歌いの技術が前学期より向上したか。 2. 歌唱法の基礎的技術が前学期より向上したか。 3. 歌からリズム遊び、楽器遊び、合奏、創作活動等に発展させる能力を身に付けたか。 ○評定の方法 実技 60% 楽典 20% 授業への取り組み姿勢 20%		
12. 受講生へのメッセージ	本科目では、「音楽表現」及び「音楽表現Ⅱ」で培ったピアノや歌唱の技術をさらに高め、保育・教育現場で子ども達により良い音楽活動を提供できるようにすることを目標としています。また、保育・教育現場で求められるのは、ピアノ伴奏による弾き歌いだけではなく、リズム遊び・楽器遊びや器楽合奏、手作り楽器など様々です。今後は、音楽活動における ICT 活用も無視できません。幅広く音楽表現に関する知識と経験を積み重ねていき、将来現場で役立てられるように、目標を高く持ちしっかりと学習すること期待します。		
13. オフィスアワー	初回授業 (オリエンテーション) の際に周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	科目の概要 (オリエンテーション) ハ・ヘ・ト・ニ長調の主要三和音及び属七の和音の復習 長調におけるマイナーコード 到達度に応じた課題曲の決定	事前学習	左欄記載の各調における主要三和音と属七の和音を復習しておくこと。
		事後学習	各調の主要三和音と属七の和音をピアノ (左手) ですぐに弾けるよう練習すること。各自で課題曲の練習に取り組むこと。
第2回	コードネームによる伴奏付け①: ハ長調の曲 (マイナーコード等を含む) ピアノ個別レッスン	事前学習	個別レッスンに向けて、課題曲の練習に取り組むこと。
		事後学習	レッスンを受けて、課題曲の弾き歌いができるようにしておくこと。
第3回	コードネームによる伴奏付け②: ヘ長調の曲 (マイナーコード等を含む) ピアノ個別レッスン	事前学習	個別レッスンに向けて、課題曲の練習に取り組むこと。
		事後学習	レッスンを受けて、課題曲の弾き歌いができるようにしておくこと。
第4回	コードネームによる伴奏付け③: ト長調の曲 (マイナーコード等を含む) ピアノ個別レッスン	事前学習	個別レッスンに向けて、課題曲の練習に取り組むこと。
		事後学習	レッスンを受けて、課題曲の弾き歌いができるようにしておくこと。
第5回	コードネームによる伴奏付け④: ニ長調の曲 (マイナーコード等を含む) ピアノ個別レッスン	事前学習	個別レッスンに向けて、課題曲の練習に取り組むこと。
		事後学習	レッスンを受けて、課題曲の弾き歌いができるようにしておくこと。
第6回	コードネームによる伴奏付け⑤: 伴奏譜の作成 ピアノ個別レッスン	事前学習	個別レッスンに向けて、課題曲の練習に取り組むこと。

		事後学習	レッスンを受けて、課題曲の弾き歌いができるようにしておくこと。
第7回	弾き歌いの発表 コードネームによる伴奏の発表	事前学習	課題曲を人前で発表できるように準備しておくこと。
		事後学習	発表の振り返りをする。
第8回	WHCに関するDVD鑑賞① 手歌の創作	事前学習	エル・システマ及びホワイトハンドコーラスについて調べておくこと。
		事後学習	課題曲の手歌の練習をしておくこと。
第9回	WHCに関するDVD鑑賞② 手歌の発表 ※レポート課題の提示	事前学習	課題曲の手歌を練習し、発表できるよう準備しておくこと。
		事後学習	レポートを作成し提出すること。
第10回	リズム遊び・楽器遊びから器楽合奏へ 無音程打楽器を中心に	事前学習	打楽器の奏法について復習しておくこと。
		事後学習	無音程打楽器を子どもに指導できるよう継続して学習すること。
第11回	器楽合奏 有音程打楽器を中心に	事前学習	合奏の楽譜を事前に読んでおくこと。
		事後学習	有音程打楽器を子どもに指導できるよう継続して学習すること。
第12回	音楽用アプリによる創作活動① ノーテーションソフト	事前学習	音楽活動におけるICTについて調べておくこと。
		事後学習	ノーテーションソフトの基本操作について復習しておくこと。
第13回	音楽用アプリによる創作活動② シーケンスソフト	事前学習	音楽用アプリの活用方法について調べておくこと。
		事後学習	シーケンスソフトの基本操作について復習しておくこと。
第14回	手作り楽器とその活用	事前学習	手作り楽器について、各自で調べておくこと。
		事後学習	手作り楽器とその活用方法について、継続して学習しておくこと。
第15回	まとめ	事前学習	ここまでの学びについて、しっかりと振り返りをしておくこと。
		事後学習	子ども達にとって望ましい音楽環境とはどのようなものか各自で考えること。また、自身の課題について見つめ直し、卒後の学習に活かせるようにすること。